



国際ロータリー 第2620地区 2023-2024 年度ガバナー

中村 皇積

## 2024/05 Governor's Monthly Letter

## — ロータリー友情交換

4月上旬にロータリー友情交換（Rotary Friendship Exchange）プログラムと第3820地区大会に参加すべくフィリピンを訪問しました。

ロータリー友情交換は、ロータリアンとご家族が相互に異国への訪問と受け入れを行う国際ロータリーの公式プログラムで、その目的は、新たなつながりと友情を育み、異文化を体験し、国際理解を深めることによって奉仕プロジェクトや職業技術の基礎を築くことにあります。

当地区にとっては10年ぶりの実施で、広く地区内から10名の会員が参加されました。フィリピンからは昨年の当地区大会に合わせてお越しいただきましたので、半年ぶりの再会となりました。

参加された皆さんからは、「びっくり！ Rotaryってこういうところなんですね！」「今まで海外というと外国人として外からしかその国を見られなかった。今回は中からとまではいかないけれど、中に近いところからこの国に触れられた」「この国で奉仕プロジェクトをやってみたい」との声が聞こえました。世界に広がるRotaryのネットワークを体験する絶好の機会になったようです。今回の概要は地区HPでも紹介しておりますのでQRコードを携帯電話のカメラで読み取ってください。



## — 女性会員未来 Design セミナー 2024

2620RID youtube



今年は食事やアフタヌーンティーを楽しみながら、女性が入会し Rotary Life を楽しむにあたっての「障壁」や、増強のアイデアについて、たっぷり時間を設けて各5人程度で話し合いました。

RLI（ロータリー リーダーシップ研究会）もそうですが、5人から多くても6人くらいが「本音の」「おしゃべり」ができますね。「女性は男性に比べて人生のステージが変化します。」という言葉にハッとしました。一人何役もこなすのも女性の特徴ですね。例会をはじめとするクラブ運営も、質と量において女性の手による、女性目線の工夫と改革が求められます。また、あの時は入会する環境にはなかったけれど、「今なら」という方も多いはず。あるクラブは間隔を置いて幾度もお誘いして成果を上げています。「俺のメシはどうなる」問題ではご家族とりわけ夫の理解も欠かせません。あるクラブでは勧誘時にご家族も同席していただき、しっかりご説明するそうです。

なお、性別を理由とする入会制限は「いかなる方法も一切無効」です。文書も、暗黙の了解も、「女性が入るなら俺は辞める」との立場や情をもって間接的に働きかけることも一切効力は持たないものとして仲間を迎えましょう。社会学上、一人では孤独、20%でもマイノリティ、30%の同質により初めて声が反映されるそうです。バランスのとれた会員基盤が世界に希望を生み出します。

## 地区幹事のつぶやき

4月より地区資金のカード決済が始まりました。  
利用額の0.3%がポリオ根絶活動資金に充てられます。  
地区のホームページから簡単に決済できますので是非ご利用ください。

地区幹事 影山忠弘



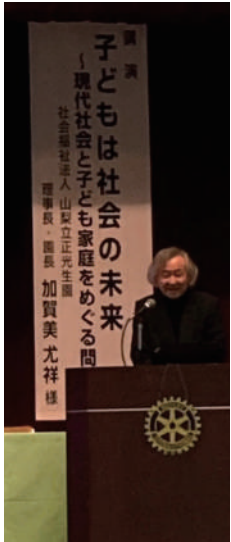
## 山梨第2グループ インターシティミーティング

令和6年3月24日(日)甲府市 かいてらす(山梨県地場産業センター)において、中村皇積ガバナー・小泉久司ガバナーエレクト・星野喜忠パストガバナー・小林聡一郎パストガバナーをお迎えし、山梨第2グループ7クラブの会員150名が参加するインターシティミーティングを開催しました。

RI会長のテーマ「世界に希望を生み出そう」のもと、溝口秀男ガバナー補佐は、ホストクラブの甲斐RCと共に、現代生活している日本の子ども達の未来は必ずしも希望が持てる状況ではない。希望が持てる社会を構築する手だてと準備を始めなければならない時期にきていると考え、「子ども達の未来のために」をこの1年のテーマとしました。今回、社会福祉法人山梨立正光生園理事長・園長であり、厚生労働省児童虐待防止専門委員会委員、全国児童養護施設協議会会長の、加賀美尤祥(かがみ ゆうしょう)様に、【子どもは社会の未来～現代社会と子ども家庭をめぐる問題～】と題して講演をいただきました。

講演では、幼い時に心身ともに深い傷を負う「虐待」や「育児放棄」はその後の子どもの健全な成長を歪め、人生を危ういものにしてしまう。しかもその養育概念は次の世代に引き継がれ拡大する負の連鎖から未来そのものを危うくしてしまうことなどについて具体的に説明され講演をいただきました。

最後に、ロータリアン同士が久しぶりに言葉を交わし、笑顔で親睦を深めました。



## 新米山奨学生カウンセラー研修会



2024年4月7日、新しい門出を祝うかのような桜満開の静岡市・グランディエールブuketウカにて、2024学年度の新米山記念奨学生、世話クラブカウンセラーオリエンテーションが行われ、引き続き、大学担当・指導教官の皆様を交え、対面式が執り行われました。

毎年恒例のことですが、午前中のオリエンテーションまでは、新奨学生と新カウンセラーは別室で行われるため、交わることはありません。新奨学生は、どのクラブが自分の世話クラブで、どの方が自分の担当カウンセラーになるのか? また、新カウンセラーの方は、どの奨学生が、自分の担当になるのか... 原則、対面式で初めてお顔を合わせ、判ることになります。新奨学生は、自分の名前と共に、世話クラブと担当カウンセラーの名前が呼ばれ登壇するわけですが、それまでは緊張の度合いが、参加者全員に伝わってくるような、カチカチの表情です。舞台上で奨学生のバッジをいただき、タスキをかけられた後、緊張の中にも安堵の様子が伺え、カウンセラーと一緒にテーブルに着いた後は、時間を追うごとに、笑顔が溢れていく... その様子が、とても印象的でした。



当地区における、2024学年度の奨学生は、クラブ支援奨学生1名、前年度からの継続奨学生5名、新奨学生22名の、計28名です。夢と希望そして、明確な目標を携え、大多数の志願者から選抜された優秀な学生の皆様です。1952年の奨学事業の構想立案から72年の年月が流れましたが、米山梅吉氏、古澤文作氏をはじめとした、戦後ロータリアンの皆様の国際親善と世界平和に寄与したいという想いは、現世代におきましても、間違いなく引き継がれていると存じます。そして、今までに巣立った約24,000人の仲間と同じく、日本と世界を結ぶ”強固な”架け橋となって活躍して下さる未来へのスタートとなった日であったことをご報告させていただきます。

地区副幹事(米山記念奨学委員会担当) 福田 清貴



各種報告事項は地区HPをご覧ください

スマートフォンのカメラでQRコードを読み取ってアクセスできます



国際ロータリー 2620 地区会員数 ※ 2024年 3月現在

	期首会員数	前月末会員数	当月末会員数	当月増	当月減	通算増	通算減	女性会員数
74クラブ	2820	2884	2850	11	45	161	131	259



国際ロータリー2620地区 2023-2024年度ガバナー事務所

〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町2-12 安藤ハザマビル5階 TEL: 054-251-2620 FAX: 054-251-2621